

令和5年度富里市地域包括支援センター実績評価表

(南部) 地域包括支援センター

1. 組織・運営体制等

(1)組織・運営体制

	センター指標	採点
1	市町村が定める運営方針の内容に沿って、センターの事業計画を策定しているか。	2
2	事業計画の策定に当たって、市町村と協議し、市町村から受けた指摘がある場合、これを反映しているか。	2
3	市町村の支援・指導の内容により、逐次、センターの業務改善が図られているか。	2
4	市町村が設置する定期的な連絡会合に、毎回、出席しているか。	2
5	市町村から、担当圏域の現状やニーズの把握に必要な情報の提供を受けているか。	2
6	把握した担当圏域の現状やニーズに基づき、センターの取組における重点項目を設定しているか。	2
7	三職種(それぞれの職種の準ずる者は含まない)を配置しているか。	1
8	市町村から、年度当初までに、センター職員を対象とした研修計画が示されているか。	2
9	センターに在籍する全ての職員に対して、センターまたは受託法人が、職場での仕事を離れての研修(Off-JT)を実施しているか。	2
10	夜間・早朝の窓口を設置し、窓口(連絡先)を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページで周知しているか。	2
11	平日以外の窓口(連絡先)を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページで周知しているか。	2
12	パンフレットの配布など、センターの周知を行っているか。	2
小計		23

(2) 個人情報の管理

13	個人情報保護に関する市町村の取扱方針に従って、センターが個人情報保護マニュアル(個人情報保護方針)を整備しているか。	2
14	個人情報が漏えいした場合の対応など、市町村から指示のあった個人情報保護のための対応を、各職員へ周知しているか。	2
15	個人情報の保護に関する責任者を配置しているか。	2
16	個人情報の持出・開示時は、管理簿への記載と確認を行っているか。	1
小計		7

(3) 利用者満足度の向上

17	市町村の方針に沿って、苦情対応体制を整備し、苦情内容や苦情への対応策について記録しているか。	2
----	--	---

18	センターが受けた介護サービスに関する相談について、市町村に対して報告や協議を行う仕組みが設けられているか。	2
19	相談者のプライバシー確保に関する市町村の方針に沿い、プライバシーが確保される環境を整備しているか。	2
小計		6

2. 個別業務

(1) 総合相談支援業務

20	地域における関係機関・関係者のネットワークについて、構成員・連絡先・特性等に関する情報をマップまたはリストで管理しているか。	2
21	相談事例の終結条件を、市町村と共有しているか。	2
22	相談事例の分類方法を、市町村と共有しているか。	1
23	1年間の相談件数を市町村に報告しているか。	2
24	相談事例の解決のために、市町村への支援を要請し、その要請に対し市町村から支援があったか	1
25	家族介護者からの相談について、相談件数や相談内容を記録等に残して取りまとめているか。	2
小計		10

(2) 権利擁護業務

26	成年後見制度の市町村長申し立てに関する判断基準が、市町村から共有されているか。	2
27	高齢者虐待事例及び高齢者虐待を疑われる事例への対応の流れについて、市町村と共有しているか。	1
28	センターまたは市町村が開催する高齢者虐待防止に関する情報共有、議論及び報告等を行う会議において、高齢者虐待事例への対応策を検討しているか。	2
29	消費者被害に関し、センターが受けた相談内容について、消費生活に関する相談窓口または警察等と連携の上、対応しているか。	2
30	消費者被害に関する情報を、民生委員・介護支援専門員・ホームヘルパー等へ情報提供する取組を行っているか。	2
小計		9

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

31	担当圏域における居宅介護支援事業所のデータ(事業所ごとの主任介護支援専門員・介護支援専門員の人数等)を把握しているか。	2
32	介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会等の開催計画を策定し、年度当初に指定居宅介護支援事業所に示しているか。	1
33	介護支援専門員に対するアンケート・意見収集等についての市町村からの情報提供や、市町村による研修会の内容等を踏まえ、地域の介護支援専門員のニーズや課題に基づく事例検討会や、個別事例を検討する地域ケア会議等を開催しているか。	1

34	担当圏域の介護支援専門員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者（例：医療機関や地域における様々な社会資源など）との意見交換の場を設けているか。	2
35	介護支援専門員が円滑に業務を行うことができるよう、地域住民に対して介護予防・自立支援に関する意識の共有を図るための出前講座等を開催しているか。	2
36	介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類した上で、経年的に件数を把握しているか。	1
小計		9

(4) 地域ケア会議

37	地域ケア会議が発揮すべき機能、構成員、スケジュール等を盛り込んだ開催計画が市町村から示されているか。	1
38	センター主催の地域ケア会議の運営方針を、センター職員・会議参加者・地域の関係機関に対して周知しているか。	1
39	センター主催の地域ケア会議において、個別事例について検討しているか。	1
40	センター主催の地域ケア会議において、多職種と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じているか。	1
41	市町村から示された地域ケア会議における個人情報の取扱方針に基づき、センターが主催する地域ケア会議で対応しているか。	2
42	センター主催の地域ケア会議において、議事録や検討事項をまとめ、参加者間で共有しているか。	1
43	地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングしているか。	2
44	センター主催の地域ケア会議において、地域課題に関して検討しているか。	2
45	センター主催の地域ケア会議における検討事項をまとめたものを、市町村に報告しているか。	2
小計		13

(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援

46	自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関し、市町村から示された基本方針を、センター職員及び委託先の居宅介護支援事業所に周知しているか。	1
47	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援のケアプランにおいて、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源を位置づけたことがあるか。	2
48	利用者のセルフマネジメントを推進するため、市町村から示された支援の手法を活用しているか。	2
49	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託する際の事業所選定の公平性・中立性確保のための指針が市町村から示されているか。	2
50	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託した場合は、台帳への記録及び進行管理を行っているか。	2
小計		9

3. 事業間連携(社会保障充実分)

51	医療関係者と合同の事例検討会に参加しているか。	1
52	医療関係者と合同の講演会・勉強会等に参加しているか。	1
53	在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口に対し、相談を行っているか。	1
54	認知症初期集中支援チームと訪問支援対象者に関する情報共有を図っているか。	2
55	生活支援コーディネーター・協議体と地域における高齢者のニーズや社会資源について協議をしているか。	2
小計		7

合計	93
----	----

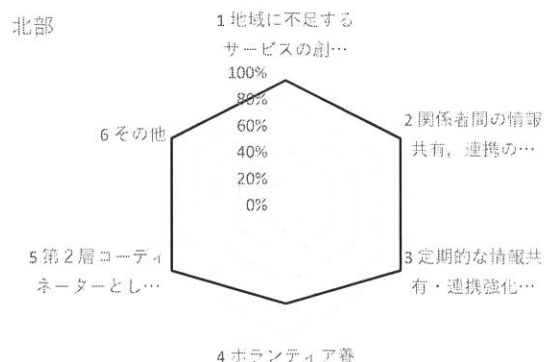
評価基準	
2	基準を上回っている。
1	基準
0	基準を下回っている。

令和5年度 富里市生活支援体制整備事業委託評価 総括表

圏 域 北部

法人名 千葉総合介護サービス（株）

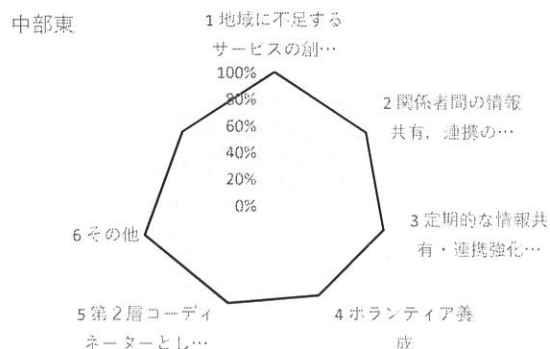
	北部	評価点	満点
1 地域に不足するサービスの創出・担い手養成及び活度の場の確保	94%	15	16
2 関係者間の情報共有、連携の体制づくり等	100%	8	8
3 定期的な情報共有・連携強化の場の構築及び運営	100%	6	6
4 ボランティア養成	75%	3	4
5 第2層コーディネーターとしての業務管理	100%	16	16
6 その他	100%	2	2
	96%	50	52



圏 域 中部東

法人名 医療法人社団 知己会

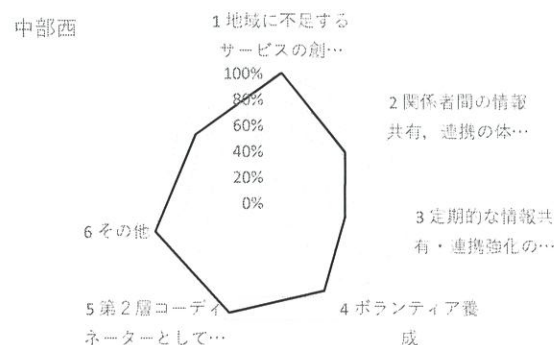
	中部東	評価点	満点
1 地域に不足するサービスの創出・担い手養成及び活度の場の確保	100%	16	16
2 関係者間の情報共有、連携の体制づくり等	88%	7	8
3 定期的な情報共有・連携強化の場の構築及び運営	83%	5	6
4 ボランティア養成	75%	3	4
5 第2層コーディネーターとしての業務管理	81%	13	16
6 その他	100%	2	2
	89%	46	52



圏 域 中部西

法人名 社会福祉法人 富里市社会福祉協議会

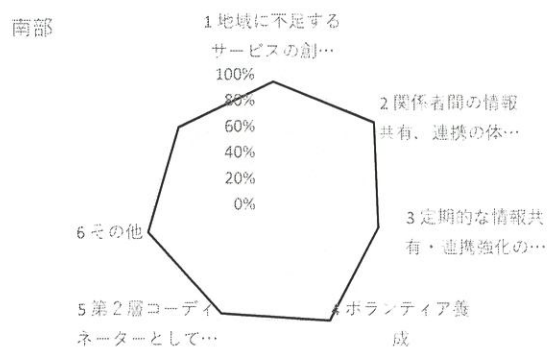
	中部西	評価点	満点
1 地域に不足するサービスの創出・担い手養成及び活度の場の確保	100%	16	16
2 関係者間の情報共有、連携の体制づくり等	63%	5	8
3 定期的な情報共有・連携強化の場の構築及び運営	50%	3	6
4 ボランティア養成	75%	3	4
5 第2層コーディネーターとしての業務管理	94%	15	16
6 その他	100%	2	2
	85%	44	52



圏 域 南部

法人名 社会福祉法人 清郷会

	南部	評価点	満点
1 地域に不足するサービスの創出・担い手養成及び活度の場の確保	94%	15	16
2 関係者間の情報共有、連携の体制づくり等	100%	8	8
3 定期的な情報共有・連携強化の場の構築及び運営	83%	5	6
4 ボランティア養成	100%	4	4
5 第2層コーディネーターとしての業務管理	94%	15	16
6 その他	100%	2	2
	94%	49	52

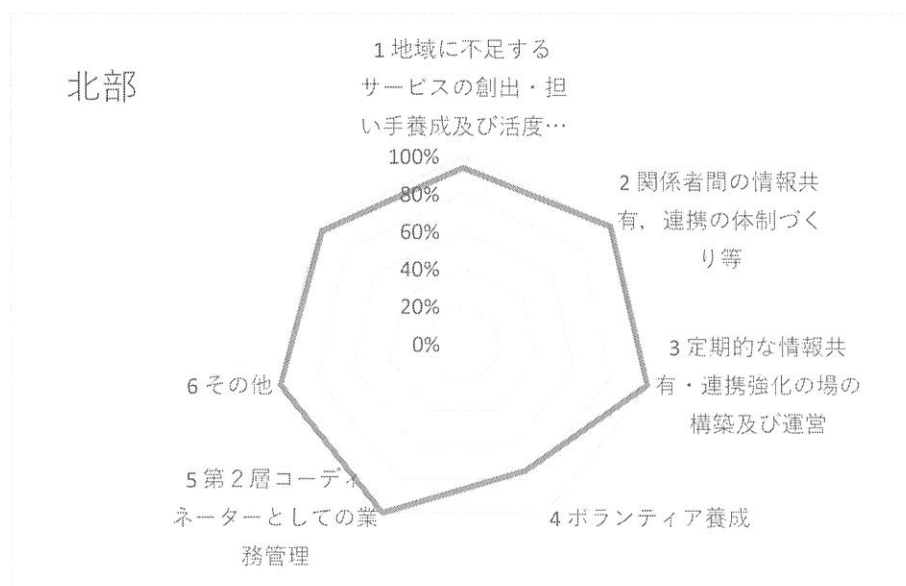


令和5年度 富里市生活支援体制整備事業委託評価 総括表

圏 域 北部

法人名 (株) 千葉総合介護サービス

		北部	評価点	満点
1	地域に不足するサービスの創出・担い手養成及び活度の場の確保	94%	15	16
2	関係者間の情報共有、連携の体制づくり等	100%	8	8
3	定期的な情報共有・連携強化の場の構築及び運営	100%	6	6
4	ボランティア養成	75%	3	4
5	第2層コーディネーターとしての業務管理	100%	16	16
6	その他	100%	2	2
		96%	50	52



<総評>

- ・担当地区の資源を把握するため集いの場やボランティアの活動の場へ出向いて内容を調査し、「富里市北部地区の集いの場マップ」を作成した。
- ・個別の事例や地域ケア会議で抽出された課題を、地域で不足しているサービスとして協議体で共有し、生活支援ボランティアによるスマホ教室や有償ボランティアによる移動サービスに繋がった。また、独居の男性高齢者などの家事についても地域の課題として提起し、男の料理教室など新たな通いの場の創出に繋がった。

令和5年度
富里市生活支援体制整備事業(第2層の生活支援コーディネーター)実績評価表

(北部)生活支援コーディネーター

1. 地域に不足するサービスの創出・担い手養成及び活度の場の確保

番号	業 務 基 準	総合評価
1	地域資源を調査し、実態把握に努めている。	2
2	地域資源を把握し、その地域に不足しているサービスが何か把握するよう努めている。	2
3	地域に対して、その地域に不足しているサービスの説明を行うよう努めている。	2
4	サービスの創出に向けた話し合いを地域等と行うよう努めている。	2
5	担い手養成の取り組みに努めている。	2
6	地域内で「活動する場」となりえる候補地を把握するための取り組みに努めている。	2
7	把握している「活動する場の候補地」について、地域と情報を共有するよう努めている。	2
8	「活動する場の候補地」を地域が利用できるよう支援に努めている。	1
小計		15

2. 関係者間の情報共有・連携の体制づくり等

9	第2層の地域づくり、サービス創出等に関係する関係者の連絡先の把握に努めている。	2
10	連携の体制づくりのために地域資源の発掘や地域の方々や関係機関に接し、信頼関係の構築に努めている。	2
11	地域の状況に応じたアプローチが実施されている。	2
12	地域包括支援センターと連携し、事業を実施している。	2
小計		8

3. 定期的な情報共有・連携強化の場の構築及び

13	担当する圏域内での協議体の参加者となりえる地域住民等の把握に努めている。	2
14	担当する圏域内での協議体の実施に向けて、地域に働きかけを行うよう努めている。	2
15	担当する圏域内で協議体を実施している。	2
小計		6

4. ボランティア養成

16	生活支援の担い手となるボランティアの養成について関係機関と協議するよう努めている。	1
17	ボランティア養成の研修・講座等(他機関が実施するものを含む)の情報を地域住民に提供するよう努めている。	2
小計		3

5. 第2層コーディネーターとしての業務管理

18	第2層生活支援コーディネーターは、関係する制度等を理解し職務にあたっている。	2
19	第2層生活支援コーディネーターは、担当する圏域の情報等を理解し職務にあたっている。	2
20	第2層生活支援コーディネーターが行う業務の周知活動を積極的に行っている。	2
21	生活支援コーディネーターの活動を通じて知り得た個人情報厳密に保護・管理している。	2
22	研修会等に積極的に参加し、生活支援コーディネーターとしての資質向上への取り組みに努めている。	2
23	地域の課題を整理したうえで、地域資源と連携協力するとともに、課題解決の方策を検討・協議している。	2
24	第1層生活支援コーディネーターと情報共有している。	2
25	必要に応じて第1層生活支援コーディネーターと連携し事業を行っている。	2
小計		16

6. その他

26	その他、富里市の生活支援体制整備の推進に向けた取り組みを実施している。	2
小計		2
合計		50

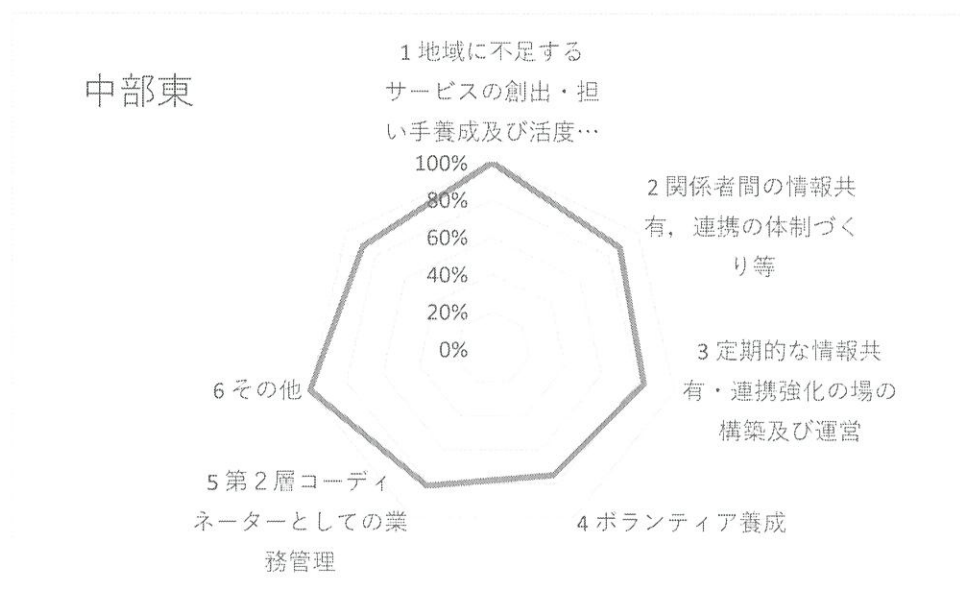
評 価 基 準	
2	基準を上回っている。
1	基準
0	基準を大幅に下回っている。

令和5年度 富里市生活支援体制整備事業委託評価 総括表

圏 域 中部東

法人名 医療法人社団 知己会

		中部東	評価点	満点
1	地域に不足するサービスの創出・担い手養成及び活 度の場の確保	100%	16	16
2	関係者間の情報共有、連携の体制づくり等	88%	7	8
3	定期的な情報共有・連携強化の場の構築及び運営	83%	5	6
4	ボランティア養成	75%	3	4
5	第2層コーディネーターとしての業務管理	81%	13	16
6	その他	100%	2	2
		89%	46	52



<総評>

・自立度の高い高齢者からの相談で集いの場を求めている声が多いことから、担当圏域で不足している地域資源として関係者に働きかけ、協議体を開催しサービスの創出に向けた話し合いを行った。また、活動する場となりえる候補地としてナリタヤ富里店や末廣農場、自治会会館などに足を運び、地域が利用できるよう働きかけた結果、シニアの集い、スマホ教室、健康麻雀など新たな住民主体の通いの場の創出に繋がった。

令和5年度
富里市生活支援体制整備事業(第2層の生活支援コーディネーター)実績評価表

(中部東)生活支援コーディネーター

1. 地域に不足するサービスの創出・担い手養成及び活度の場の確保

番号	業 務 基 準	総合評価
1	地域資源を調査し、実態把握に努めている。	2
2	地域資源を把握し、その地域に不足しているサービスが何か把握するよう努めている。	2
3	地域に対して、その地域に不足しているサービスの説明を行うよう努めている。	2
4	サービスの創出に向けた話し合いを地域等と行うよう努めている。	2
5	担い手養成の取り組みに努めている。	2
6	地域内で「活動する場」となりえる候補地を把握するための取り組みに努めている。	2
7	把握している「活動する場の候補地」について、地域と情報を共有するよう努めている。	2
8	「活動する場の候補地」を地域が利用できるよう支援に努めている。	2
小計		16

2. 関係者間の情報共有・連携の体制づくり等

9	第2層の地域づくり、サービス創出等に関係する関係者の連絡先の把握に努めている。	2
10	連携の体制づくりのために地域資源の発掘や地域の方々や関係機関に接し、信頼関係の構築に努めている。	1
11	地域の状況に応じたアプローチが実施されている。	2
12	地域包括支援センターと連携し、事業を実施している。	2
小計		7

3. 定期的な情報共有・連携強化の場の構築及び

13	担当する圏域内での協議体の参加者となりえる地域住民等の把握に努めている。	2
14	担当する圏域内での協議体の実施に向けて、地域に働きかけを行うよう努めている。	2
15	担当する圏域内で協議体を実施している。	1
小計		5

4. ボランティア養成

16	生活支援の担い手となるボランティアの養成について関係機関と協議するよう努めている。	2
17	ボランティア養成の研修・講座等(他機関が実施するものを含む)の情報を地域住民に提供するよう努めている。	1
小計		3

5. 第2層コーディネーターとしての業務管理

18	第2層生活支援コーディネーターは、関係する制度等を理解し職務にあたっている。	1
19	第2層生活支援コーディネーターは、担当する圏域の情報等を理解し職務にあたっている。	2
20	第2層生活支援コーディネーターが行う業務の周知活動を積極的に行っている。	1
21	生活支援コーディネーターの活動を通じて知り得た個人情報は厳密に保護・管理している。	2
22	研修会等に積極的に参加し、生活支援コーディネーターとしての資質向上への取り組みに努めている。	1
23	地域の課題を整理したうえで、地域資源と連携協力するとともに、課題解決の方策を検討・協議している。	2
24	第1層生活支援コーディネーターと情報共有している。	2
25	必要に応じて第1層生活支援コーディネーターと連携し事業を行っている。	2
小計		13

6. その他

26	その他、富里市の生活支援体制整備の推進に向けた取り組みを実施している。	2
小計		2
合計		46

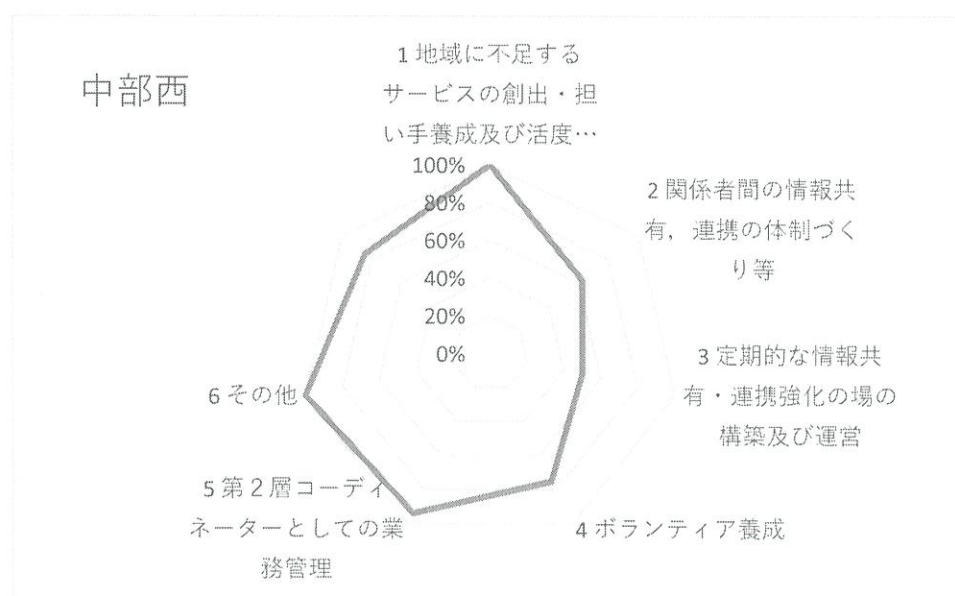
評 価 基 準	
2	基準を上回っている。
1	基準
0	基準を大幅に下回っている。

令和5年度 富里市生活支援体制整備事業委託評価 総括表

圏 域 中部西

法人名 社会福祉法人 富里市社会福祉協議会

		中部西	評価点	満点
1	地域に不足するサービスの創出・担い手養成及び活 度の場の確保	100%	16	16
2	関係者間の情報共有，連携の体制づくり等	63%	5	8
3	定期的な情報共有・連携強化の場の構築及び運営	50%	3	6
4	ボランティア養成	75%	3	4
5	第2層コーディネーターとしての業務管理	94%	15	16
6	その他	100%	2	2
		85%	44	52



<総評>

- ・集いの場や地域の行事に出向き、地域との関係構築に努めた。これまで活用していなかった地域資源を把握できたことにより、地域住民に情報提供することができた。
- ・介護予防の取り組みとして、地域包括支援センターと協働し福祉センターでのちょきん体操を2部制にしたり、ふるさと自然公園にて歩こう会を実施することにより、より多くの高齢者に介護予防活動の普及啓発を図ることができた。
- ・包括だよりに力を入れており、実施している事業などを紙媒体で周知した。

令和5年度
富里市生活支援体制整備事業(第2層の生活支援コーディネーター)実績評価表

(中部西)生活支援コーディネーター

1. 地域に不足するサービスの創出・担い手養成及び活度の場の確保

番号	業 務 基 準	総合評価
1	地域資源を調査し、実態把握に努めている。	2
2	地域資源を把握し、その地域に不足しているサービスが何か把握するよう努めている。	2
3	地域に対して、その地域に不足しているサービスの説明を行うよう努めている。	2
4	サービスの創出に向けた話し合いを地域等と行うよう努めている。	2
5	担い手養成の取り組みに努めている。	2
6	地域内で「活動する場」となりえる候補地を把握するための取り組みに努めている。	2
7	把握している「活動する場の候補地」について、地域と情報を共有するよう努めている。	2
8	「活動する場の候補地」を地域が利用できるよう支援に努めている。	2
小計		16

2. 関係者間の情報共有・連携の体制づくり等

9	第2層の地域づくり、サービス創出等に関係する関係者の連絡先の把握に努めている。	1
10	連携の体制づくりのために地域資源の発掘や地域の方々や関係機関に接し、信頼関係の構築に努めている。	1
11	地域の状況に応じたアプローチが実施されている。	1
12	地域包括支援センターと連携し、事業を実施している。	2
小計		5

3. 定期的な情報共有・連携強化の場の構築及び

13	担当する圏域内での協議体の参加者となりえる地域住民等の把握に努めている。	1
14	担当する圏域内での協議体の実施に向けて、地域に働きかけを行うよう努めている。	1
15	担当する圏域内で協議体を実施している。	1
小計		3

4. ボランティア養成

16	生活支援の担い手となるボランティアの養成について関係機関と協議するよう努めている。	1
17	ボランティア養成の研修・講座等(他機関が実施するものを含む)の情報を地域住民に提供するよう努めている。	2
小計		3

5. 第2層コーディネーターとしての業務管理

18	第2層生活支援コーディネーターは、関係する制度等を理解し職務にあたっている。	2
19	第2層生活支援コーディネーターは、担当する圏域の情報等を理解し職務にあたっている。	2
20	第2層生活支援コーディネーターが行う業務の周知活動を積極的に行っている。	2
21	生活支援コーディネーターの活動を通じて知り得た個人情報 は厳密に保護・管理している。	2
22	研修会等に積極的に参加し、生活支援コーディネーターとしての資質向上への取り組みに努めている。	2
23	地域の課題を整理したうえで、地域資源と連携協力するとともに、課題解決の方策を検討・協議している。	1
24	第1層生活支援コーディネーターと情報共有している。	2
25	必要に応じて第1層生活支援コーディネーターと連携し事業を行っている。	2
小計		15

6. その他

26	その他、富里市の生活支援体制整備の推進に向けた取り組みを実施している。	2
小計		2
合計		44

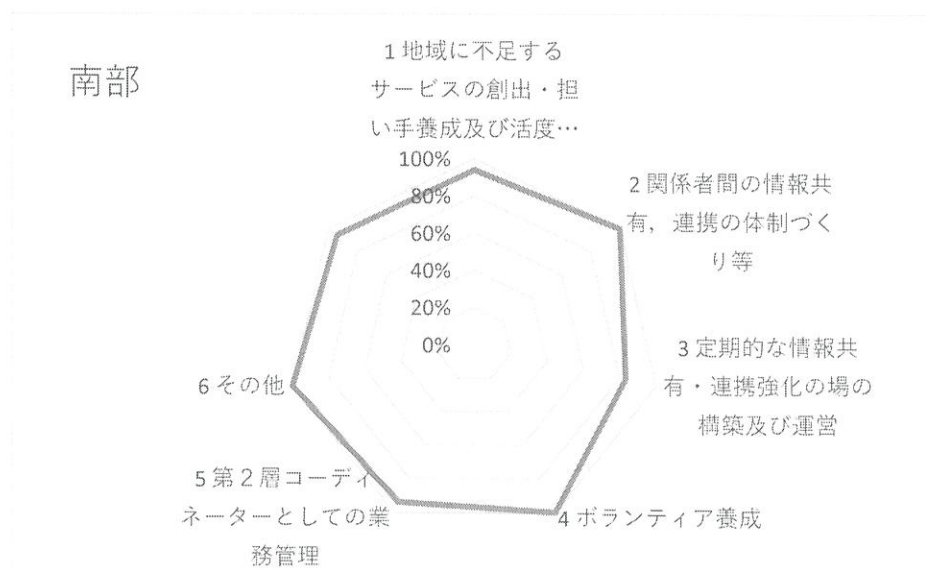
評 価 基 準	
2	基準を上回っている。
1	基準
0	基準を大幅に下回っている。

令和5年度 富里市生活支援体制整備事業委託評価 総括表

圏 域 南部

法人名 社会福祉法人 清郷会

		南部	評価点	満点
1	地域に不足するサービスの創出・担い手養成及び活度の場の確保	94%	15	16
2	関係者間の情報共有、連携の体制づくり等	100%	8	8
3	定期的な情報共有・連携強化の場の構築及び運営	83%	5	6
4	ボランティア養成	100%	4	4
5	第2層コーディネーターとしての業務管理	94%	15	16
6	その他	100%	2	2
		94%	49	52



<総評>

- ・住民主体の話し合いの場に参加し、ネットワークの構築に努めた。また、住民が自発的に活動を立ち上げる際に支援の要請があった場合は適宜伴走している。令和5年度は、地域において新たな住民主体の資源が創出され、生活支援コーディネーターの取り組みの成果が明確に表れていた。また、選択肢が増えたことにより、集いの場や活動の場の情報を地域住民に提供することができた。
- ・地域住民が自分たちの力を発揮できる場所を提供できるよう努めている。特に、南部地域交流ホームを地域の方々に活用していただけるよう準備している。
- ・地域の通いの場で人生会議について説明し、自分自身のことについて考える機会をもつことができるようエンディングノートの活用とともに普及啓発を図った。

令和5年度
富里市生活支援体制整備事業(第2層の生活支援コーディネーター)実績評価表
(南部)生活支援コーディネーター

1. 地域に不足するサービスの創出・担い手養成及び活度の場の確保

番号	業 務 基 準	総合評価
1	地域資源を調査し、実態把握に努めている。	1
2	地域資源を把握し、その地域に不足しているサービスが何か把握するよう努めている。	2
3	地域に対して、その地域に不足しているサービスの説明を行うよう努めている。	2
4	サービスの創出に向けた話し合いを地域等と行うよう努めている。	2
5	担い手養成の取り組みに努めている。	2
6	地域内で「活動する場」となりえる候補地を把握するための取り組みに努めている。	2
7	把握している「活動する場の候補地」について、地域と情報を共有するよう努めている。	2
8	「活動する場の候補地」を地域が利用できるよう支援に努めている。	2
小計		15

2. 関係者間の情報共有・連携の体制づくり等

9	第2層の地域づくり、サービス創出等に関係する関係者の連絡先の把握に努めている。	2
10	連携の体制づくりのために地域資源の発掘や地域の方々や関係機関に接し、信頼関係の構築に努めている。	2
11	地域の状況に応じたアプローチが実施されている。	2
12	地域包括支援センターと連携し、事業を実施している。	2
小計		8

3. 定期的な情報共有・連携強化の場の構築及び

13	担当する圏域内での協議体の参加者となりえる地域住民等の把握に努めている。	2
14	担当する圏域内での協議体の実施に向けて、地域に働きかけを行うよう努めている。	2
15	担当する圏域内で協議体を実施している。	1
小計		5

4. ボランティア養成

16	生活支援の担い手となるボランティアの養成について関係機関と協議するよう努めている。	2
17	ボランティア養成の研修・講座等(他機関が実施するものを含む)の情報を地域住民に提供するよう努めている。	2
小計		4

5. 第2層コーディネーターとしての業務管理

18	第2層生活支援コーディネーターは、関係する制度等を理解し職務にあたっている。	2
19	第2層生活支援コーディネーターは、担当する圏域の情報等を理解し職務にあたっている。	2
20	第2層生活支援コーディネーターが行う業務の周知活動を積極的に行っている。	2
21	生活支援コーディネーターの活動を通じて知り得た個人情報 は厳密に保護・管理している。	2
22	研修会等に積極的に参加し、生活支援コーディネーターとしての資質向上への取り組みに努めている。	2
23	地域の課題を整理したうえで、地域資源と連携協力するとともに、課題解決の方策を検討・協議している。	1
24	第1層生活支援コーディネーターと情報共有している。	2
25	必要に応じて第1層生活支援コーディネーターと連携し事業を行っている。	2
小計		15

6. その他

26	その他、富里市の生活支援体制整備の推進に向けた取り組みを実施している。	2
小計		2
合計		49

評 価 基 準	
2	基準を上回っている。
1	基準
0	基準を大幅に下回っている。